

テーマ 「減災技術ワーキングチームの活動」

～地域防災力向上のために、技術士は今後何をすべきか～



機関名: **防災支援委員会 ワーキングチーム-C**

氏名: **小山 和夫/こやま かずお (情報工学/総合技術監理)**

Mail: kz_koyam@tokyo-gas.co.jp, kz.koyama@nifty.com

「減災技術ワーキングチーム-Cの活動」

1. 活動のテーマ

ワーキングチーム-C(WT-C)のテーマは**防災情報・防災教育**で、現在のメンバー数は8名です。大地震や大災害に対して、平常時から備えを怠らなければ必ず被害を防止・軽減できる、すなわち**「もしものためにいつものそなえ・備えあれば憂いなし」**というのが私達の信念です。特にソフト対策に焦点を当て、**防災リテラシーの確立**を目指して、見学会・ヒアリング・勉強会・資料作り・自治体支援などを行っています。リテラシーのももとの意味は「読み書きそろばん」、すなわち「生きていくために必要とされる能力」のことです。防災リテラシーの確立とは、地震などの大災害に際して**「生き残るための知恵」**を日頃から身につけておくことです。

2. これまでの主な活動

平成17年の発足以来、**防災カード**、**防災Q&A**を作成し、機会ある毎に各方面に配布を行ってきました。

(1) **防災カード**: 防災カードは、いざというとき冷静に行動するための要点をまとめた必携カードです。内容は、地震時の行動フロー、避難方法、安否確認方法、家族との連絡方法、災害用伝言板の利用方法、帰宅方法などがコンパクトにまとめられています。災害が発生してから読むのではなく、とっさに行動できるように常日頃から反すうし、体で覚えることが大切です。2011年1月に改定し、QRコードを採用して利便性の向上を図りました。現在、スマートフォン対応など更なる改訂を検討中です。

(2) **防災Q&A**: 防災Q&Aは、防災支援委員会のホームページで公開中のWeb版Q&A集で、A4サイズで印刷すると247ページになります。防災に関して日頃疑問に思ったことがらについて分かり易く解説するのが目的です。内容は、①地震に対する日頃の心構え、②地域防災力の向上、③地盤および地震災害、④地震による津波災害、⑤建物の耐震性向上、⑥企業防災力の向上、⑦情報の収集・提供、⑧被災した後の自治体の対応、⑨被災した場合の個人の対応、⑩戸建住宅・マンションの再建、⑪救助・救援、⑫地震と環境、⑬災害に関する法律、と多岐にわたっています。現在、改訂を検討中です。

3. 今後の活動予定

防災リテラシーは、ご家庭の主婦、小中学生からお年寄りまで、国民みんなの課題です。今後の活動としては、次のことを予定あるいは取り組み中です。

- ① **防災カード、防災Q&Aの改訂**: 東日本大震災の教訓の反映等。
- ② **防災活動支援の実践**: 現在、自治体等からの依頼に応じ、「帰宅困難者対策」に関する支援に取り組み中で、これまでの成果を「実践」しています。
- ③ **防災資料作りの拡大**: 防災ゲーム等、防災リテラシー教育用資料作り。
- ④ **ICT(情報通信技術)の防災教育への有効活用**など。

私達の活動もまだまだ道半ばで、これからもさらに努力を続けていきたいと考えています。同じ関心を持つ方々の参加を心からお待ちしています。

いざというとき冷静に行動するための要点をまとめた必携カードです。



折りたたむと
6.5cm×9.8cm

防災カード

防災支援委員会のホームページで公開中。いざというとき役に立ちます。



防災 Q&A (247 ページ)